

# 社会貢献と 国際貢献

## 公的研究機関との連携の推進

工学研究院では2006年度、(独)港湾空港技術研究所および(独)海上技術安全研究所と新たに教育研究連携協定を締結しました。

### (独)港湾空港技術研究所

横浜国立大学と、独立行政法人港湾空港技術研究所は平成18年7月1日(土)付で教育研究連携協定を締結しました。

同研究所は、長い間、運輸省港湾技術研究所として、港湾工学、海岸工学、地盤工学を中心とする土木工学の分野で活発な研究活動を展開してきました。世界的にも著名な研究者が在籍しています。最近では、津波防災の研究、合理的な港湾、海岸構造物の設計など、本学とも共通する分野での研究が行われています。この協定により、同研究所の研究者が、客員教授もしくは客員助教授として本学で授業を担当し、学生の指導を行うことや、大学院学生を同研究所に派遣し、連携して研究指導を行うことが始まりました。



本学と同研究所はこれまでも、非常勤講師の受入れや、実習生の派遣、共同研究などを研究室レベルで行ってききましたが、こうした実績を踏まえ包括的に本協定を結ぶことにより、より一層の連携が図られることが期待されています。

今回の協定で、大学・研究機関、自治体、企業を含め12機関との包括連携・組織的連携となりました。

### (独)海上技術安全研究所

本学における船舶海洋分野との従来からの交流実績を基に今後の更なる連携を目指して本学と独立行政法人海上技術安全研究所(海技研)は、『教育研究連携に関する協定書』を平成19年1月26日(金)本学学長室において飯田学長と中西理事長出席のもとに締結しました。

海技研は船舶海洋工学分野の研究所としては世界的にも屈指の施設・陣容を誇る研究所です。総面積は19万m<sup>2</sup>(写真には長さ400m幅18mの長水槽と縦横80mの角水槽が見えます)を有し平成19年度の研究職員は169名(全体で215名)総予算は43億円の規模であり船舶流体力学・構造強度を核に海洋開発関係・物流・安全・エネルギー・IMOなどの国際関係へのコミットなど幅広い研究・発信を活発に行っています。

本協定により工学研究院で新たに設置されたPEDコースも含めて、本大学と研究所の新たな連携による研究指導の充実が期待されています。



2006 High Tech Institute